

黒埼町の今音

町史編さん課

満洲国移民の軌跡(四)

八月十五日の敗戦とともに つらい逃亡生活が始まる。

昭和二十年の春ころには、戸数百八十戸の五福堂新潟村は、一家の大黒柱ともいえる正団員がすでに百人以上も召集され、女子供ばかりの村に

なっていた。団員たちの丹精した開墾地にも次第に荒地が目立つようになっていった。区長が召集され、敗戦の知らせを持ってくる

八月十三日、すでにわずしか残っていない五福堂新潟村のほとんど全員に、八月十四日出頭の手配命令が来た。しかし、降雨続きのため汽車が不通になり、入隊は十六日に延期になった。

こうして、開拓団の武装解除が終わると、大小グループの強盗団が動き始めた。中蒲原部落の区長の塩田誠さん(現在新潟市柄目木在住)ほか一人が十六日朝、通北駅へ向かって部落を出発した。ところがその日の夕方、朝入隊したはずの塩田区長ともう一人が、中蒲原部落へこっそり帰ってきた。そして、日本が敗戦したことを部落に知らせ、大騒ぎになった。敗戦は避けられないものと覚悟はしていたもののショックは大きかった。

その日の夕方ころから、日本の敗戦を知った満人(現地人)たちが部落の周囲をうろつき始めた。八月十七日、十八日と、五福堂本部で緊急団員会議が開かれ、治安維持隊からの命令が伝えられた。「八月十九日までに五福堂の完全武装解除、銃器は治安維持隊へ返納せよ。もしこの命令にそむけば五福堂の各部落を総攻撃して殲滅する」というのだ。

暗闇となった部落に、窓ガラスをガチャン、ガチャンと叩き割る音、物を奪い合う怒鳴り声、物を運び出す牛馬車の轍の響き。静かだった部落がたちまち大騒動となった。警備用に各戸に渡っていた銃と弾が、武装解除により返納させられていくのを知っているのを知っているのを知っている。子供たちは恐ろしさに泣き声も出さない。婦人たちは子供たちを抱きかかえて「この家にも襲って来るのでは」「殺されるのでは」と心の中では思っている。声を殺し、耳だけ外の様子に集中していた。



部落を脱出すると現地人が家畜を奪い始めた

区長は部落の全員を区長宅へ集まらせた。「こうなった以上、死ぬも生きるもともにしようではないか、これからは個人勝手は許さないから、みんなは私の指示に従ってもらいたい」と区長は言った。集まった婦人たちは無言のままその言葉に納得した。

「また来たア」という声がした。そこへ「隣の平林部落へ避難するから、急いで家を出るように」と、区長の指示が伝わってきた。スイノさんはなんとか勝を背負うと、三栄の手を引き、応援の馬車に乗り込んだ。原住民たちは部落の周囲に

集まると、牛や綿羊などの家畜をわれ先に奪い始めた。部落を脱して、スイノさんたちは平林区に合流した。その夜、残して置かれた方が焼かれて、空が赤く燃えているのを見て、泣いた。

平林部落も脱出、本部へその日の午後、また区長から連絡が来た。団本部に集結するから、早急に身仕度をして出発する。道路は危険だから、湿地を渡ること。スイノさんは身のまわりの物を布に包んで背にすると、その上に勝を乗せ、三栄の手を引き、後に続いた。大人の背丈ほどもある草がおい繁ったうえ、昨夜降った雨で、湿地を歩くのは容易ではなかった。「がんばるんだよ」と遅れ



子供たちを連れ湿地を進む

ると殺されるんだよ」と誰かが子供たちを励ました。執筆・宮田栄門取材協力 塩田誠(新潟市柄目木在住)

ニ/ユ/ー/ス/足/報/

毎月15日ごろまでにご連絡を

昨年12月13日(日)、県卓球連盟主催の中学生新人卓球大会で、黒中が男女とも優勝。(写真はそのトロフィー)

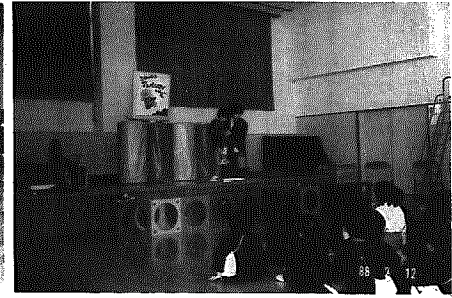


保育所で交通安全指導

二月十二日(金)木場保育所で、園児を対象に交通安全の指導が行なわれました。映画の上映や腹話術などで、道路の正しい渡り方などを学びました。これから外が暖かくなり、子供たちの活動も活発になります。そこで子供たちを交通事故から守ろうと、町で実施するもので、三月九日まで町内の他保育所でも行われます。

親子でレクリエーション

一月二十日(土)、北部地区公民館で「親子のつどい」が開催され、幼児・小学生とその親約六十人が参加しました。映画を見たあと、元社会教育指導員の乙川哲夫さんの指導で、綱引きや風船を使ったゲームなどを、親子いっしょに体を動かして楽しみました。最後にあたたかいあずき湯が出され、みんなで頂きました。

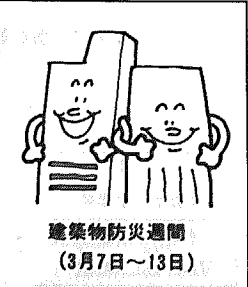


年賀はがき一等が二人も

今年の年賀はがきの当選者が一等、二等とも三人ずつ大野町郵便局から出て一月三十日(土)同局で授与式が行なわれました。写真は右から、佐々木局長代理、佐藤智子さん(二等・焼田)、小林千津子さん(二等・北場)、鬼島局長、坂井与松さん(一等・板井) ほかに一等に井上純さん。同局ではこんなに当たるのは珍しい。

障害児の療育のために

一月二十六日、環境改善センターで在宅心身障害児療育指導者講座が開かれました。心身障害児の早期療育を図る方法などを研修するもので、西蒲・燕地区十二市町村の保健婦や保母など約六十人が参加。まず分水町保健婦長の富所文子さんから問題提起があり、その後三つの分科会にわかれて熱心に討議しました。



建築物防災週間 (3月7日～13日)

善意の窓
*匿名のかたが交通遺児のために使ってほしいと毎月千円(二月まで二千円)を寄付。
*佐藤秀男さん(柳作)が一般寄付金として千円を寄付。

スポーツ大会

◆第6回小学生卓球大会 (2月7日総合体育館)

・団体戦 男子①大野小A②立仏小A③板井小A、敢闘賞立仏小B 女子 ①板井小A②大野小A③立仏小A、敢闘賞立仏小B
・個人戦 男子①小林辰也(板井小)②小林隆一(大野小)③鈴木和将(大野小) 敢闘賞、萩野悟士(板井小) ※123人参加
女子 ①渡辺静代(立仏小)②星野あさみ(大野小)③萩野三土里(板井小) 敢闘賞、監物富士子(板井小) ※54人参加

◎善友会第56回囲碁大会 (2月11日 聞念寺支坊)

優勝 Aクラス阿部利男(善久) Bクラス渡辺堅太郎(立仏) Cクラス石垣回生(寺地) ※参加者27人。なお、次回大会は4月を予定しています。



安全ですか? あなたを包んでいる建物

地震、火災などの災害は忘れたころにやってきます。そうした災害から人命、財産を守るためには、建築物の安全にふだんから注意し、防災機能を向上させる努力をすることが大切です。あなたを包んでいる建物、その安全をいま一度見直しましょう。

昭和63年
お年玉つき年賀きき
当せん番号

引換え期間
昭和63年1月20日
～7月19日
お引換えは
お早目に!

1等	カメラ一体型ビデオ (8ミリタイプ (ソニー株式会社) (VHSタイプ (松下電器産業株式会社))	A組 470844 B組 891375 C組 659569 D組 104628
2等	インスタントカメラ (ポラロイド株式会社)	A組 43885 B組 29103
3等	ふるさと小包	A組 4830 B組 4888 C組 6663
4等	手紙セット (印刷・便せんセット)	A組 171 B組 708
5等	お年玉切手シート	A組 12 B組 53 C組 63